

3G/HD/SDビデオスイッチャー

HVS-490 “HANABI”

NDI

FOR.A[®]

花火
HANABI

3G/HD/SD Video Switcher

HVS-490

HANABI



NDI[®]はVizrt Groupの登録商標です。

ライブ制作に最適な4K 対応スイッチャー

柔軟な拡張性を備えたビデオスイッチャー HVS-490 は、オプションを追加することで4K 入出力、NDI®に対応します。

MELite™を活用することで2M/EのHVS-490で6M/E相当*の性能を発揮します。さらに、FLEXaKEY™、2.5D DVEを組み合わせれば、最大12キーヤーでの合成を含む多彩な演出を実現可能で、ライブ制作に最適です。

* HVS-490I 拡張カード搭載時、4Kモードでは1M/E+1MELiteになります。

祝
花火
HANABI



特長

1 MELite

AUXトランジション機能をさらに進化させたのがMELiteです。AUXバスでAUXトランジションを実行させる前のプレビューが確認可能となり、AUX出力をPGM/PREVと同等に扱うことができます。標準で2MELiteを装備しており、HVS-49IOオプションにより、4MELiteへ増設可能です。MELiteにFLEXaKEYをアサインすることで標準の2M/Eに加え、M/E相当の列をさらに2つ（最大4つ）利用することが可能となり、2M/Eスイッチャーでありながら4～6M/E相当の演出を実現できます。演出の幅を広げるとともに安全な映像切り替えを約束します。

- AUX を使用して、プレビューを確認しながらトランジション (CUT、MIX、WIPE) の適用やキーイングが可能。
- MELiteはM/E列の前端に配置可能なため、より高度な演出用の列として使用が可能。
- 再撮向け映像として使用すれば、単なる映像切り替えに留まらない演出が可能。

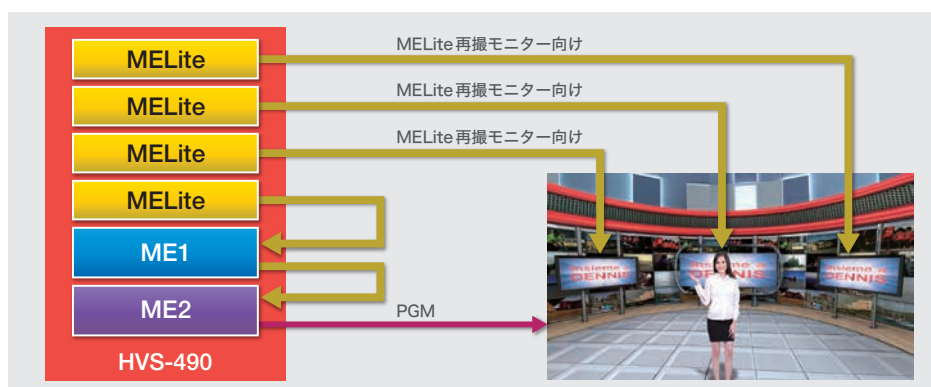
2 FLEXaKEY

柔軟なアサイン変更が特徴的なFLEXaKEYという名称のキーヤー (DSKに相当) を、M/Eバスに標準のキーヤーから独立させて4系統搭載しています。AUXバスに異なる4系統のキーイングを簡単に行うなど、標準的なビデオスイッチャーの枠を超えた演出を実現できます。

- 4系統のFLEXaKEYは、M/E/AUXバスにフリーアサイン可能。各M/Eバスでは最大8キーヤー (4キーヤー + 4 FLEXaKEY) の合成が可能。
- AUXバスでP-in-P表示をしたり、FLEXaKEYをMELiteにアサインすると、アップストリームキーとして使用することも可能。
- FLEXaKEYを応用することにより、たった1台のHVS-490で、複数のモニターを並べたビデオウォール (マルチモニター) を実現可能。

MELite + FLEXaKEY 使用例

- HVS-49IO 拡張カードを増設した場合
- 4Kモード時は1M/E + 1MELite



3 DVE

トランジションはCUT、MIX、WIPEから選択可能です。100パターンものWIPEに加え、回転やポジション移動といった2.5D DVE WIPE*を標準で16系統 (4K 2SIモード時：標準4系統) 実装しています。さらに、モザイクやデフォーカスといったエフェクト効果も搭載しています。

* 4K SQDモード時は未対応です。



4 充実の入出力、NDI入出力にも対応

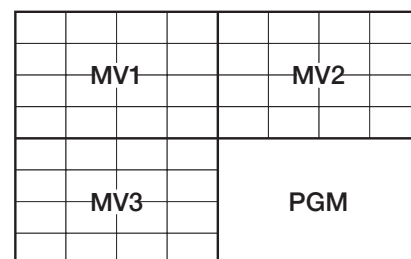
ビデオ入力には標準で16系統、最大40系統 (4Kモード時*は入力8～10系統)、ビデオ出力は標準で9系統 (HDMI x 1含む) 最大で22系統 (HDMI x 2含む) (4Kモード時*は出力6～7系統 (HDMI x 2含む)) に対応しています。HVS-NIF搭載により、NDI High Bandwidth/NDI HX に対応。最大8入力4出力が可能です。

拡張カードについて、詳しくは「オプション」をご覧ください。

* HVS-49IO 拡張カード、HVS-49EXP4Kソフトウェアが必要です。

5 マルチビューワーを標準搭載

HVS-490は標準で3系統のマルチビューワー (SDフォーマット時：2系統) を搭載し、それぞれ最大16分割まで (4K SQDモード時：最大4分割) 表示可能です。系統ごとに39種類の分割パターンから1つを選択し、異なるマルチ映像を表示できます。メインのオペレーターに加え、別のオペレーター向けにも最適なモニタリング環境を提供します。また、HDMI 2.0 Level-B出力では4Kサイズの映像を出力できます。HDMI 2.0 Level-B出力時は4つの映像を1画面で確認可能です。



HDMI 2.0 Level-B出力時

6 AESデジタルオーディオ、Dante オーディオ入出力に対応 (オプション)

オプションHVS-49AESを搭載することでAES 4入力4出力に、HVS-DNTを搭載することで基板1枚につき最大64チャンネルのDante オーディオ入出力に対応。

HVS-49AESとHVS-DNTについてはp.12も合わせてご覧ください。HVS-DNTは将来対応予定です。

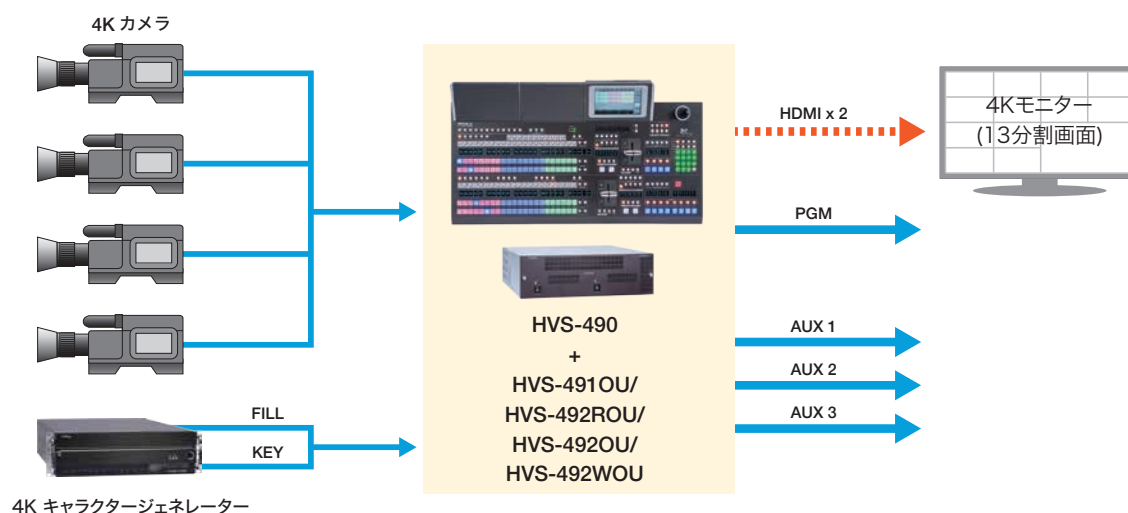
7 2SI/SQDの4Kモードに対応 (オプション*)

4Kカメラから4チャンネルの3G/HD-SDIで出力される2SI (2-Sample Interleave) およびSQD (Square Division) の4K UHD映像を処理することが可能です。

* HVS-49IO拡張カード、HSV-49EXP4Kソフトウェアが必要です。4Kモードの仕様はP14、15のスペック表、4Kモード欄をご覧ください。

4Kシステム構成例

1台のHVS-490で4Kシステムの構築が可能です。将来的な4K UHD環境へのアップグレードを視野にデザインされたHVS-490は、拡張カード (オプション) の増設により、最大4K UHD入力10系統 / 出力6系統、または入力8系統 / 出力7系統に対応します。さらに、AUXバスのユニークな活用により、1 ~ 1.5M/E相当の機能を持った4Kスイッチャーとして活用できます。



NDI 対応を可能にする HVS-NIF

HVS-NIFは、高画質/低遅延な映像の伝送を実現するNDI High Bandwidthや、低ビットレート伝送を可能とするNDI HXの入出力を可能にするI/F基板。NDI対応機器との、ネットワークを介した映像/音声の送受信を可能にし、ベースバンドとIPを混在させたシステムを構築可能。遠隔地からのリモート制御、PCへのNDI出力による容易な映像配信等でライブ映像制作を強力支援。

HVS-NIF 主な仕様/特長

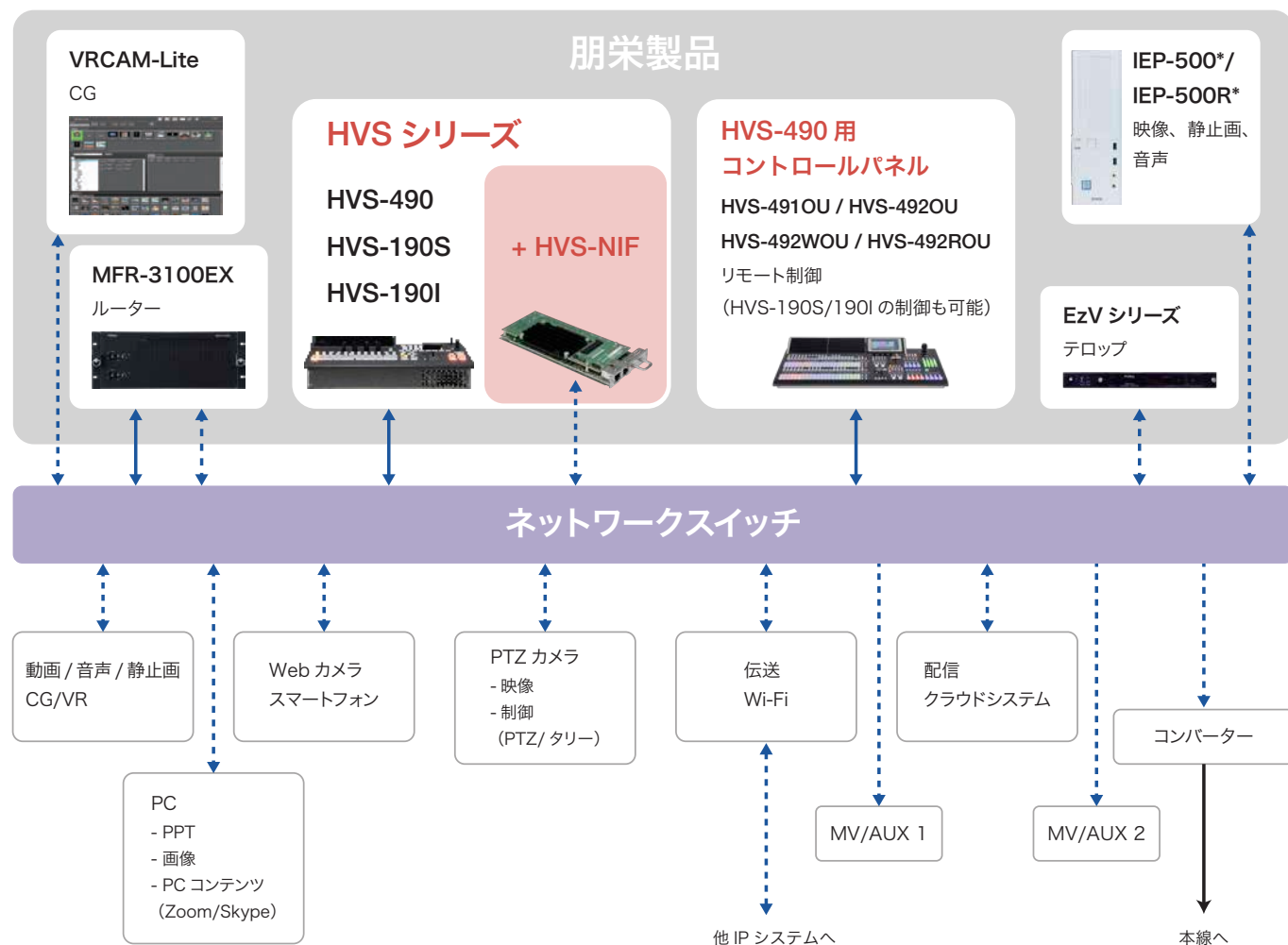


- NDI High Bandwidth/NDI HX 入出力に対応
- 3G/HDフォーマット対応、HVS-NIF1枚につきMoIPで4入力¹2出力が可能
- アルファチャンネル受信に対応²
- HVS-490に最大2枚³、HVS-190Sに最大3枚、HVS-190Iに最大2枚搭載可能
- 全入力にフレームシンクロナイザーを搭載
- プロセスアンプ機能：入力映像の輝度、彩度、色相を調整可能
- カメラリモート制御機能対応
- 1GbEイーサネット端子を2つ搭載
- ハードウェアでコーデック処理を行うため、信頼性の高いMoIPシステムを構築可能

*1 1080/59.94p、1080/50pフォーマットのHigh Bandwidth NDIの場合は3入力。

*2 NDI High Bandwidthのみ。*3 HVS-NIFはSD、4Kフォーマットには対応していません。

NDIによるライブソリューション



* 将来対応予定。NDI High Bandwidth のみ、NDI HX には対応していません。

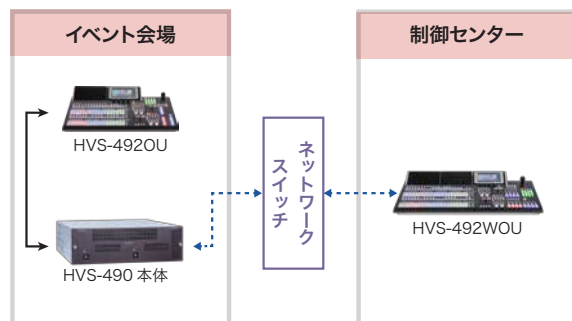
..... LAN (NDI)
 ——— LAN
 ——— その他

NDI 対応を可能にする HVS-NIF

■ 遠隔操作

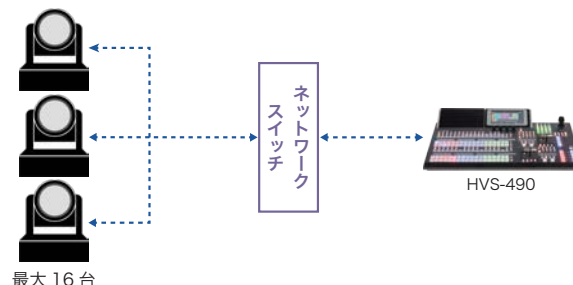
遠隔のイベント会場に設置した HVS-190S/190I*を、制御センター内に設置したコントロールパネルから制御可能。

*下記イメージ図は HVS-190S の場合です。



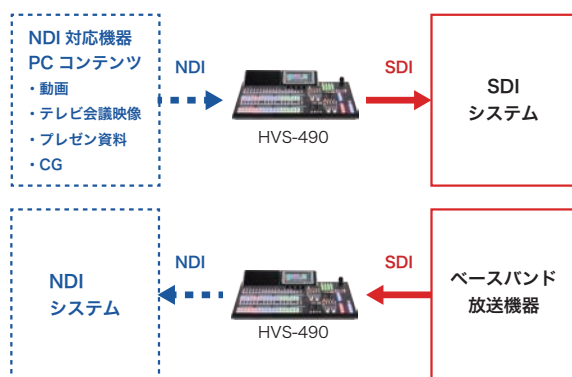
■ PTZカメラ制御

複数台の PTZ カメラ制御が可能。パン / チルト / ズーム操作、タリー点灯制御、プリセットメモリの登録 / 呼出、マクロ登録によるバスボタンスイッチ操作との連動切替が可能。最大 16 台のカメラを接続可能。



■ SDI/NDI 混在システム構築をサポート

SDI システムへの NDI 出力対応機器 / PC コンテンツの追加や、NDI システムへの信頼性の高いベースバンド放送機器の追加が可能。



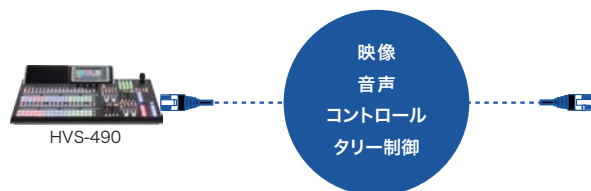
■ SDI/IPの相互変換、ルーティングが可能

SDI 機器に PTZ カメラや PC コンテンツ等の出力を加えて、1 台のスイッチャーから複数へ向けての自由な映像 / 音声送出、SDI/IP の相互変換、ルーティングを実現。SDI/IP 素材および出力はどれも内蔵 MV に同列に配置して IP 経由で監視も可能。



■ LAN ケーブルにより様々な信号を双方向接続可能

1 本の LAN ケーブルのみで複数の映像、音声、制御、タリーを双方向に接続可能。



■ 多様な活用場面

放送、ライブイベント、企業イベント等、業種を問わず様々な場面で活用可能。



活用例

SDI/NDI の混在演出

現場 / リモート両方の出演者の映像や PC コンテンツをスイッチャーへ入力可能。また、リモートの出演者へは、PGM 以外に 12 系統の豊富な AUX バスを利用して任意の映像を戻すことも可能。

SDI/IP のサイマル送出

SDI 送出と同時に IP ストリームによる配信サイトへの接続も可能なため、両者を混在 / 連携させた運用も可能。

アプリケーション

ライブイベント

ライブやイベントなど、仮設でシステムをセットアップしなければならない現場において、高機能なHVS-490は大きく活躍します。演出の仕込みにはイベントメモリーやマクロ機能が役立つでしょう。マルチモニターの演出にはMELiteを利用することで、複数台のビデオスイッチャーを用意することなく、機材を大きく削減することができます。PTZカメラを使用する現場では、HVS-NIFを搭載しNDI対応することにより、スイッチャーからの操作が可能です。より少ない人数での運用を可能にします。最も重要なことは簡単操作であること。操作ミスをなくし現場の演出に集中することができます。



中型中継車

HVS-490は中型中継車との相性が抜群です。性能に妥協がないため、放送用途にも十分に活用できます。また、フレームシンクロナイザーやマルチビューワーをはじめ、システム構築に便利な機能を凝縮しているため、機器の削減にもなります。さらに、複数のコントロールパネルを使ったマルチオペレーションにより、複数のスタッフで役割分担が可能なオペレーション環境を提供します。



多彩な機能

HD/SDモード時。4Kモードでの仕様は「4Kモード仕様」をご覧ください。

■ フレームシンクロナイザーを標準搭載

入力された同期 / 非同期ビデオ信号のスイッチングを可能にするフレームシンクロナイザーを、全入力に搭載しています。オプションの拡張カードを実装することにより、PCなどから入力される非同期信号にも対応します。また、入力信号のビデオレベルやクロマレベルなどを調節可能なプロセスアンプ機能も全入力に搭載しています。

■ リサイズエンジンを標準搭載

4系統のビデオ入力にリサイズ (拡大) エンジンを搭載しているため、アップコンバーターなどの外部機器を接続しなくても、HVS-490単体でSDとHDの完全な混在環境を実現できます。SD信号はもちろん、PC映像のリサイズ*も可能です。

* HVS-100PCI拡張カード搭載時

■ スチルストア・クリップストア4系統を標準搭載

ビデオ入力信号や、PGM出力信号などを静止画*として取り込んだり、PCなどで作成した静止画データや、合計約1760フレームまでの動画が4系統使用でき、取り込んだ動画を使ったCGワイプも可能です。静止画 / 動画データは、操作パネルまたはPCから読み込みできます。また、バックアップ機能により、本体内のSSD (オプション) に静止画または動画データを保存できるので、HVS-490の再起動後でも保存したデータを読み出すことが可能です。

* PNG、JPEG、TGA、BMP に対応

■ 外部インターフェース

19入力まで対応可能なGPIポート、22出力まで対応可能なGPI/TALLYポート、Alarm出力 (ファン、電源)、編集機などの接続に利用するRS-422ポート、PCコントロールの際に利用するEthernetポートを搭載しています。また、オペレーションユニットにも6入力6出力まで対応可能なGPIポートを搭載しています。



■ キーヤー

HD入力の場合、各M/Eに搭載した4系統のすべてのキーヤーおよび4系統のFLEXaKEYに、2.5D DVEを同時にアサインすることができます*。また、4系統のクロマキーを搭載しているため、各キーヤーまたはFLEXaKEYにアサインすることが可能です。さらに、各キーヤーにはエッジ (8hまで設定可能) を標準装備しています。

* 1080/59.94p、1080/50p入力の場合、すべてのキーヤーに2.5D DVEを同時にアサインするにはHVS-49DVE (オプション) のインストールが必要です。標準では、最大8系統のDVEをキーヤー、FLEXaKEY、およびトランジションで共有できます。



多彩な機能

■ マクロ

一連のパネル操作をマクロとして保存し、任意のボタンに登録することにより、ワンタッチで同じ操作を繰り返し実行することが可能です。



■ イベントメモリー / ユーザーボタン

合計100パターンまでのパネル設定をイベントとして保存できます。イベントはコントロールパネルのユーザーボタンに登録できるため、ユーザーボタンを押すだけでパネル設定を一瞬で切り替えられます。さらに、切り替え効果 / 時間も選べるイベントメモリーは、ユーザーボタン一つで複雑な映像切り替えをシームレスに実現できるため、ライブなどでの運用に最適です。また、ユーザーボタンにはHVS-490の様々な機能を自由に登録できるため、コントロールパネルをユーザーに合わせてカスタマイズできます。



■ オーディオ付きクリップをサポート

オーディオデータをHVS-490にあらかじめダウンロードしておくことで、クリップ再生時に音声を再生できます。CGワイプを使って映像を切り替えるときに効果音を付けることが可能です。

■ GUIコントロール機能

WEBサーバーを搭載しているため、Ethernet経由でPCからHVS-490の操作が可能です。さらに、モバイル端末、タブレット端末からWiFiアクセスポイント経由でも、同様の設定変更が可能です。

■ シーケンス機能

最大30パターンのシーケンスを登録可能です。

■ カラーコレクター

M/Eごとに4系統のカラーコレクターを搭載しています。

コントロールパネル

用途に合わせてHVS-491OU、HVS-492ROU、HVS-492OU、HVS-492WOUの4タイプから選択可能です。ビデオ素材の種類やボタン機能別に点灯色を選べるRGBカラーボタンや素材表示用有機ELディスプレイ、コントロールパネル上に搭載した7インチのタッチパネルGUI、ソース名表示、マクロ名表示などで操作性を向上させることにより、正確な運用をサポートします。各種設定はXYZの3軸を持つジョイスティック、つまみ、キーパッドによる直接入力も可能です。また、ユーザーボタンは多彩な機能のフリーアサインが可能で、コントロールパネルの要所に配置しています。SDカード使用時には、設定ファイル、STILLデータのLOAD、SAVEが可能です。さらに、HVS-490にはWEBサーバーを内蔵しているので、遠隔地からの設定、操作、映像プレビューが可能です。



HVS-491OU



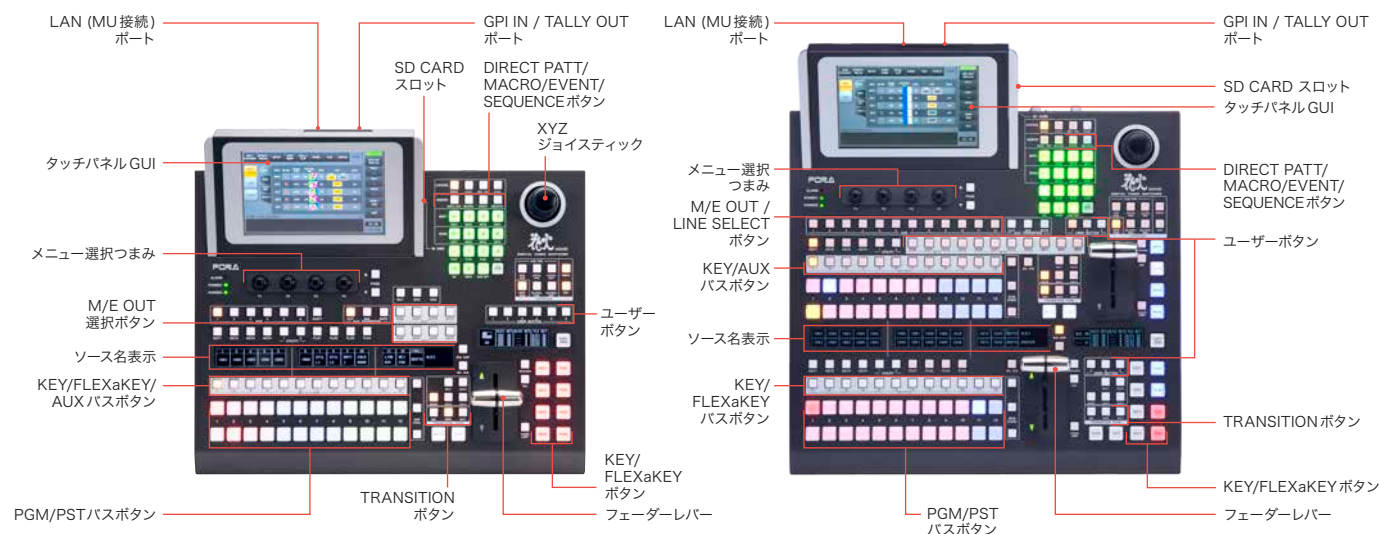
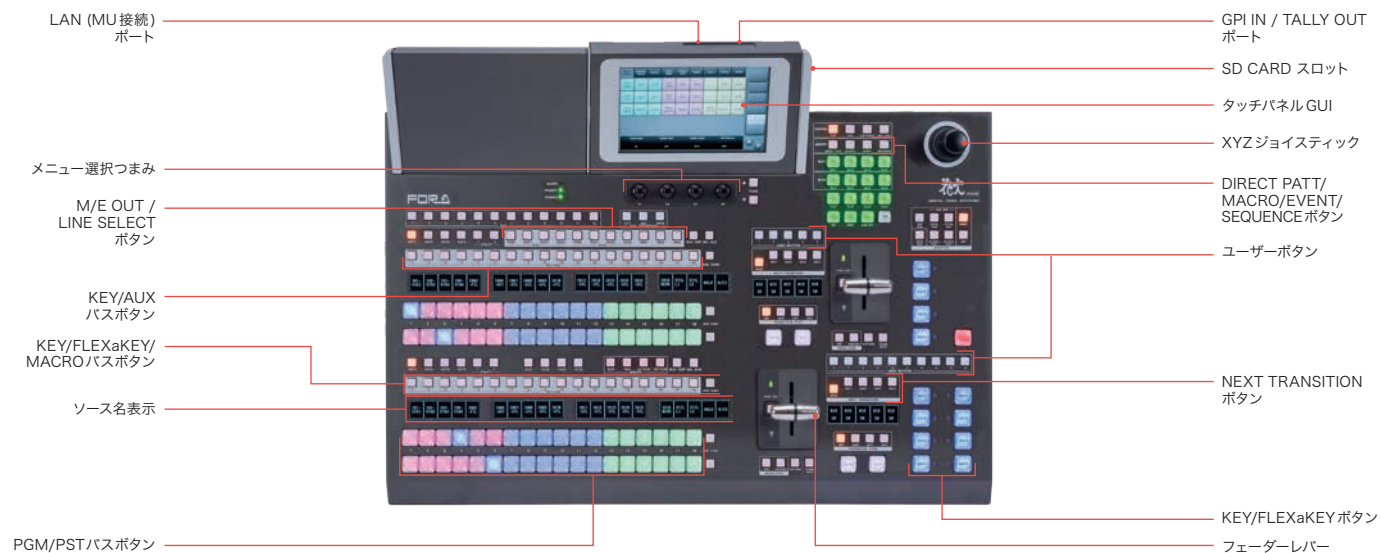
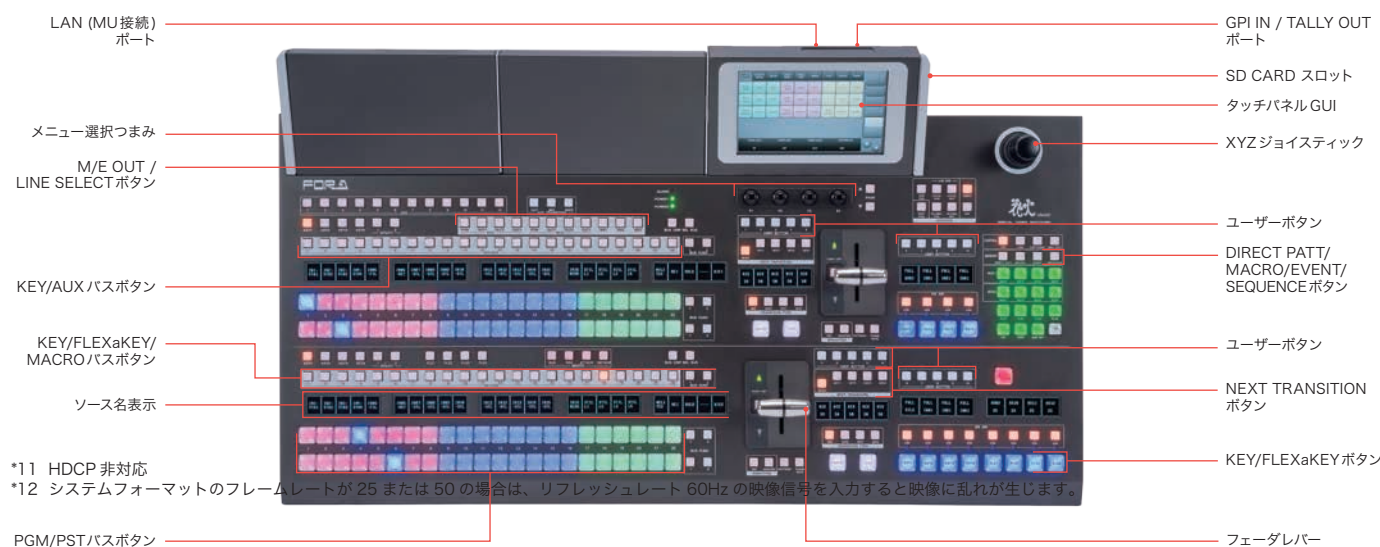
HVS-492OU



HVS-492ROU



HVS-492WOU

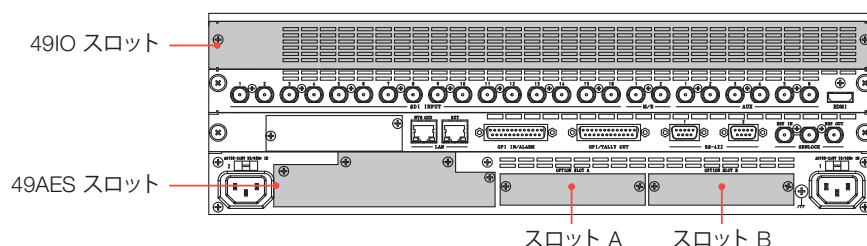
HVS-491OU 1M/E(12ボタン)コントロールパネル**HVS-492ROU** 2M/E (12ボタン) コントロールパネル**HVS-492OU** 2M/E (18ボタン) コントロールパネル**HVS-492WOU** 2M/E (22ボタン) コントロールパネル

*11 HDCP 非対応

*12 システムフォーマットのフレームレートが 25 または 50 の場合は、リフレッシュレート 60Hz の映像信号を入力すると映像に乱れが生じます。

拡張カード

拡張スロットに以下の拡張カードを実装することにより、必要な数のインターフェースや機能を増設することができます。



HVS-NIF スロット A/B 搭載可能

NDI 入出力基板

NDI対応を可能にする拡張基板。入出力共にNDI High Bandwidth、NDI HXに対応し、基板1枚につき4入力2出力が可能です。ProcAmp、タリ一点灯制御、リモートカメラ操作 (PTZ) 等の機能を搭載。



HVS-49IO 49IOスロット搭載可能

16入力9出力拡張カード

カード1枚で3G/HD-SDIを入力16系統・出力8系統の増設、およびHDMIを出力1系統の増設が可能です。全入力にフレームシンクロナイザー機能、4系統にリサイズ (拡大) 機能を搭載、SD映像もHD映像として内部処理可能です。3G-SDI信号で入力する場合は、Level-A/Level-Bのどちらの信号入力にも対応します (Level-B信号は、自動的にLevel-A信号に変換します)。

HVS-100DI-A スロット A/B 搭載可能

デジタル入力カード

カード1枚で4系統の3G/HD/SD*-SDI増設が可能です。全入力にフレームシンクロナイザー機能、2系統にリサイズ (拡大) 機能を搭載。3G-SDI信号で入力する場合は、Level-A/Level-Bのどちらの信号入力にも対応します (Level-B信号は、自動的にLevel-A信号に変換します)。

* HVS-49SD 搭載時



HVS-100DO スロット A/B 搭載可能

デジタル出力カード

カード1枚で2系統の3G/HD/SD*-SDI増設が可能です。全出力に専用のダウンコンバーターも搭載。これにより、HDとSDのサイマル出力を実現します。

* HVS-49SD 搭載時



HVS-100AI スロット A/B 搭載可能

アナログ入力カード

カード1枚で2系統のアナログビデオ信号増設が可能です。入力端子2は専用コネクタです (変換コネクタは付属)。入力端子それぞれに対してアナログコンポジットまたはアナログコンポーネント (HDまたはSD*) 入力の選択が可能です。

* HVS-49SD 搭載時



HVS-100AO スロット A/B 搭載可能

アナログ出力カード

カード1枚で2系統のアナログビデオ信号増設が可能です。出力端子2は専用コネクタです (変換コネクタは付属)。出力端子それぞれに対してアナログコンポジットまたはアナログコンポーネント (HDまたはSD*) 出力の選択が可能です。

* HVS-49SD 搭載時



HVS-100PCI スロットA/B搭載可能

PC入力カード

カード1枚にHDMIおよびVGA端子を搭載しました。両者を利用することで2系統の入力が可能です。

**HVS-100PCO** スロットA/B搭載可能

PC出力カード

カード1枚にHDMIおよびVGA端子を搭載しました。両者を利用することで2系統の出力が可能です。



入力拡張カード対応解像度

HD モード *1	1080/59.94p	1024 x 768/60Hz (XGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1280 x 768/60Hz (WXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/59.94p (HDTV)
	1080/50p	1024 x 768/60Hz (XGA)*2、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1280 x 768/60Hz (WXGA)*2、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/50p (HDTV)
	1080/29.97p	1920 x 1080/29.97p (HDTV)
	1080/25p	1920 x 1080/25p (HDTV)
	1080/24p	1920 x 1080/24p (HDTV)
	1080/23.98p	1920 x 1080/23.98p (HDTV)
	1080/59.94i	1024 x 768/60Hz (XGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1280 x 768/60Hz (WXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/59.94i (HDTV)
	1080/50i	1024 x 768/60Hz (XGA)*2、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1280 x 768/60Hz (WXGA)*2、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/50i (HDTV)
	1080/29.97PsF	1024 x 768/60Hz (XGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1280 x 768/60Hz (WXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/29.97PsF (HDTV)
	1080/25PsF	1024 x 768/60Hz (XGA)*2、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1280 x 768/60Hz (WXGA)*2、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/25PsF (HDTV)
SD モード	720/59.94p	1024 x 768/60Hz (XGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1280 x 768/60Hz (WXGA)、1280 x 720/59.94p (HDTV)
	720/50p	1024 x 768/60Hz (XGA)*2、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1280 x 768/60Hz (WXGA)*2、1280 x 720/50p (HDTV)
	625/50i	640 x 480/60Hz (VGA)*2、800 x 600/60Hz (SVGA)*2、1024 x 768/60Hz (XGA)*2、720 x 576/50i (SDTV、PAL)
	525/60i	640 x 480/60Hz (VGA)、800 x 600/60Hz (SVGA)、1024 x 768/60Hz (XGA)、720 x 480/60i (SDTV、NTSC)

出力拡張カード対応解像度

HD モード *1	1080/59.94p	1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/59.94p (HDTV)
	1080/50p	1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)*2、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/50p (HDTV)
	1080/29.97p	1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/29.97p (HDTV)
	1080/25p	1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)*2、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/25p (HDTV)
	1080/24p	1920 x 1080/24p (HDTV)
	1080/23.98p	1920 x 1080/23.98p (HDTV)
	1080/59.94i	1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/59.94i (HDTV)
	1080/50i	1280 x 1024/50Hz (SXGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1600 x 1200/50Hz (UXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1680 x 1050/50Hz (WSXGA)、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)*2、1920 x 1200/50Hz (WUXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/50i (HDTV)
	1080/29.97PsF	1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)、1920 x 1080/29.97PsF (HDTV)
	1080/25PsF	1280 x 1024/50Hz (SXGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1600 x 1200/50Hz (UXGA)、1600 x 1200/60Hz (UXGA)*2、1680 x 1050/50Hz (WSXGA)、1680 x 1050/60Hz (WSXGA)*2、1920 x 1200/50Hz (WUXGA)、1920 x 1200/60Hz (WUXGA)*2、1920 x 1080/25PsF (HDTV)
SD モード	720/59.94p	1280 x 1024/60Hz (SXGA)、1280 x 768/60Hz (WXGA)、1280 x 720/59.94p (HDTV)
	720/50p	1280 x 1024/50Hz (SXGA)、1280 x 1024/60Hz (SXGA)*2、1280 x 768/50Hz (WXGA)、1280 x 768/60Hz (WXGA)*2、1280 x 720/50p (HDTV)
	625/50i	800 x 600/50Hz (SVGA)、800 x 600/60Hz (SVGA)*2、720 x 576/50i (SDTV、PAL)
	525/60i	800 x 600/60Hz (SVGA)、720 x 480/60i (SDTV、NTSC)

*1 HDCP 非対応

*2 システムフォーマットのフレームレートが25 または 50 の場合は、リフレッシュレート 60Hz の映像信号を入力すると映像に乱れが生じます。

HVS-49AES 49AES スロット搭載可能

デジタルオーディオ入出力拡張カード

入出力各4系統(8チャンネル)の平衡/不平衡のオーディオ入出力が可能です。入力映像、クリップ映像からのDEMUX、出力映像へのMUXが可能です。サンプリングレートコンバーター搭載により、入力オーディオをシステムに同期させることができます。

HVS-49DVE

2.5D DVE 拡張カード

1080/59.94p、50p時、DVEは標準で8系統使用可能です。DVEを拡張することにより、1080/59.94p、50pや4Kフォーマット時に、全てのKEYER/FLEXaKEYでDVEが使用可能になります。

HVS-DNT* スロットA/B搭載可能

Dante オーディオ基板

基板1枚で、最大64チャンネルのDanteオーディオ入出力に対応します。リダundantに対応。BNC端子を2つ搭載し、入出力を切り替えることでSDI入力/出力を最大2系統増設可能です。

* 将来対応予定

その他**HVS-AUX16B/AUX16D**

デスクトップタイプオグジュアリーユニット

16ボタンのデスクトップタイプAUXリモートコントロールパネルです。



HVS-AUX16B



HVS-AUX16D/表示器付き

HVS-TALOC32/HVS-TALR32

タリユニット

1台のHVS-490に下記のタリユニット(ハーフラックサイズ)を最大3台まで接続できます。

- HVS-TALR32: リレータイプ、32接点
- HVS-TALOC32: オープンコレクタータイプ、32接点

HVS-49SSD240G

SSD 増設オプション

スチル、クリップデータ保存用のSSDです。

取付金具

スイッチャーコントロールパネル用取付金具

HVS-AUX16A/AUX16C/AUX32A/AUX64A

オグジュアリーユニット

16、32ボタンタイプは1RUラックサイズ、64ボタンタイプは2RUラックサイズで、Ethernet接続により最大10台まで接続が可能です。各ボタンはAUXのソース確認だけでなく、各種機能のアサインも可能なため、運用の幅が大きく広がります。



HVS-AUX16A



HVS-AUX16C/表示器付き



HVS-AUX32A



HVS-AUX64A

HVS-49PSM/49PSO

リダundant電源

HVS-49PSMはHVS-490本体用、HVS-49PSOはHVS-4910U/492ROU/492OU/HVS-492WOUコントロールパネル用のリダundant電源です。

オプション**ソフトウェア**

4Kフォーマットや編集機プロトコルへの対応を実現します。

HVS-49EXP4K

4Kフォーマット拡張ソフトウェア

4K UHD (3840 x 2160/59.94p、50p、29.97p、25p、2SI / SQD)の入出力*をサポートするためのソフトウェアです。

* HVS-4910が必要

HVS-49ED

編集機プロトコル対応ソフトウェア

編集機プロトコル (BVS/DVS、GVG) に対応するためのソフトウェアです。

HVS-49SD

SDフォーマット拡張ソフトウェア

SD(525/60、625/50)の入出力をサポートするためのソフトウェアです。

詳細な仕様は仕様書、またはマニュアルをご覧ください。

記載の商品名および社名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。外観および仕様は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。カタログと実際の製品の色は印刷の関係で多少異なる場合があります。このカタログの記載内容は2024年12月現在のものです。



株式会社 朋栄 www.for-a.co.jp

ISO9001取得
ISO14001取得
(佐倉R&D)

■ 本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿3-8-1	Phone 03-3446-3121 (代)
■ 関 西 支 店	〒530-0055	大阪府大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル8F	Phone 06-6366-8288 (代)
■ 札 幌 営 業 所	〒004-0015	北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク2-1-16	Phone 011-898-2011 (代)
■ 東 北 営 業 所	〒980-0021	宮城県仙台市青葉区中央2-10-30 仙台明芳ビル3F	Phone 022-268-6181 (代)
■ 東 海 営 業 所	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦1-20-25 広小路YMDビル6F	Phone 052-232-2691 (代)
■ 中 国 営 業 所	〒730-0012	広島県広島市中区上八丁堀5-2 WAKO KMビル4F	Phone 082-224-0591 (代)
■ 松 山 営 業 所	〒790-0002	愛媛県松山市二番町3-3-8 二番町ヒルズ5F	Phone 089-968-2058 (代)
■ 九 州 営 業 所	〒810-0004	福岡県福岡市中央区渡辺通2-4-8 福岡小学館ビル6F	Phone 092-731-0591 (代)
■ 沖 縄 営 業 所	〒901-0145	沖縄県那覇市高良3-8-23 眞浩商事ビル302	Phone 098-851-9981 (代)
■ 佐倉R&Dセンター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作2-3-3	Phone 043-498-1230 (代)
■ 札幌R&Dセンター	〒004-0015	北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク2-1-16	Phone 011-898-2018 (代)
■ 大阪R&Dセンター	〒530-0055	大阪府大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル3F	Phone 06-6366-0022 (代)
■ 福岡R&Dセンター	〒810-0004	福岡県福岡市中央区渡辺通2-4-8 福岡小学館ビル6F	Phone 092-731-0591 (代)
■ 朋栄エム・エフ・ジーセンター	〒285-0074	千葉県佐倉市西御門473-1 (ちばりサーチパーク内)	Phone 043-498-6066 (代)

■ FOR-A Corporation of America Corporate Office ■ FOR-A Corporation of America Northeast Office ■ FOR-A Corporation of America Southeast Office
■ FOR-A Latin America and the Caribbean Miami Office ■ FOR-A Latin America and the Caribbean Sao Paulo Office
■ FOR-A Latin America and the Caribbean Mexico City Office ■ FOR-A Europe S.r.l. ■ FOR-A UK Limited ■ FOR-A Italia S.r.l. ■ FOR-A Corporation of Korea
■ FOR-A China Limited ■ FOR-A Middle East-Africa Office ■ FOR-A India Private Limited Corporate Office ■ FOR-A India Private Limited Mumbai Office
■ FOR-A South East Asia Hong Kong Office ■ FOR-A South East Asia Singapore Office



安全に関するご注意

ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。水、湿気、湯気、ほこり、油などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

機器・システムの保守・メンテナンスのご連絡は下記までご連絡ください

朋栄サービスセンター／03-3446-8575

24時間365日電話受付